

果樹の開花に必要な低温積算時間を一目で把握 —スマホで果樹の促成栽培管理を支援—

- ・ スマートフォン等で「果樹の開花に必要な低温積算時間」を把握できるシステムを開発。
- ・ Webブラウザの操作で、指定した園地の低温積算時間の実況および予報値を表示。
- ・ 適切な時期に加温を開始すれば、無駄な加温が無くなることによる省エネ効果が期待される。
- ・ 現在はお試し版を無料公開中で会員登録すれば利用可能。

研究機関：農研機構

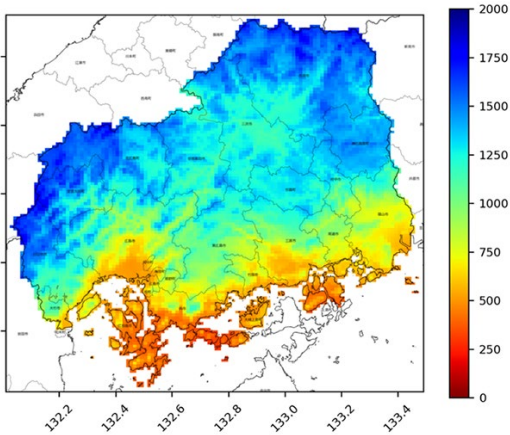


低温積算時間を計算させるための設定画面



低温積算時間の表示
(到達日(青字)と到達予定日(赤字)が表示される)

No	低温積算時間	到達日
1	200	2022-12-08
2	400	2022-12-21
3	600	2023-01-01
4	800	2023-01-12
5	1000	2023-01-25
6	1200	2023-02-05
7	1400	2023-02-18
8	1600	—
9	1800	—
10	2000	—



広島県における2021年10月1日～2022年1月10日の低温積算時間の現況マップ
(縦軸は緯度(度)、横軸は経度(度)、
図横のカラーバーは7.2℃以下の低温積算時間(時間))



果樹アプリトップページへアクセス
<https://fruitforecast.jp/>
低温積算時間アイコンより、
果樹の低温積算時間表示システムへ移動

果樹アプリ（お試し版）への
アクセス方法

導入により期待される効果

本システムの利用により、加温開始時期を簡便・適切に判断できるので、開花率の向上や開花のそろいが良くなるほか、無駄な加温が無くなることによる省エネ効果により、促成栽培における安定生産が期待される。